

祝入学
おめでとう

*第48回入学式

4月10日(水)に第48回入学式が行われました。式の中では、ご来賓の方々より新入生に向けた心温まるご祝辞をいただき緊張した面持ちの新入生も新たなスタートを切ることができた様子でした。また、式辞の中で、学校生活の目的などについて話がありました。その一部をご紹介します。

【学校長式辞より】

さて、新入生の皆さん、いよいよ高校生としての生活が始まります。大人としての第一歩を踏み出さなければなりません。皆さんは、なぜ高校に進学されたのですか? 「皆さんは、なぜ中学校を卒業したら高校に行くのが当たり前だから? みんな行っているから?」確かに、ほとんどの人が高校へ進学されており、当たり前のことかもしれません。しかし、もう一度考えてみてください。「何のために高校へ進学したのか」「高校で何をしたいのか」こんな自分になりたい、今の自分を変えたい、今の友達が欲しいなど、やりたいことは様々かと思えます。そこに優劣はありません。途中で変わっても構いません。やりたいことは変化していくものです。そして、なかなか思い通りにはいかないものです。大切なのは、常に自分の頭で考え、自分で決めて、自ら行動し、自分を信じて挑戦することです。うまくいかなくても、悔しくても、挫折そうになっても、情けなくなっても、我慢しながら信じ、たことを続けるのです。もし失敗したとしても、もう一度顔を上げて挑戦すればいいのです。どんなに小さなことでも構いません。その経験の一つひとつが自信となり、自分を成長させてくれます。常に心掛けてほしいこと、それは「自分で考え、自分で決めて、自ら行動し、責任を持つ」ということです。それが、本校の校訓である「自律」につながります。自分を律することのできる人は「誠実な心」を持った人となり、他者を思いやることのできる人には「豊かな心」を持った人に成長します。そして、人にはそれぞれ、色々な考え方や物の捉え方があります。その違いを受け入れ、理解し、相手の立場に立った思いやりのある行動や言葉かけができるようになっていただきたいのです。友人や先生、そして地域の方々との出会いや経験から多くのことを学び、どう生きるのかを考えながら、互いを愛し、共に生きていく「豊かな心」を育んでほしいと思います。

学校長

緒方 康二

*始業式

4月8日(月)、令和6年度の始業式が行われました。校長先生からは、「真の学力」について「なぜその行動が必要なのか」「その行動を通してどのようなことを達成しようとしているのか」「その状況の中で、どのような行動がふさわしいのか」を考えられるようになるため、日々の生活の中で多くの経験をし、いろいろな人からのアドバイスを活かして、「自ら考えて、責任をもって行動できる」ようになって欲しいという訓話がありました。

*新任式

4月8日(月)、新任式が行われました。新任式では、赴任された先生方を代表して数学科の橋本先生が挨拶をされました。「月の引力が見える町という幻想的なキャッチコピーと豊かな自然に囲まれた太良町で、皆さんと一緒に学校生活を送れることを楽しみにしています」というあたたかい言葉に生徒も緊張がほぐれた様子でした。

学年担任紹介

学年	1年生			2年生			3年生	
主任	村上(国)			栗山(理)			堤(保)	
クラス	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組
担任	橋本(数)	大橋(理)	武藤(社)	平岡(英)	平川(数)	野中(英)	古川(家)	小淵(社)
副担任	松浦(社)	森(国)	福島(英)	甲木(商)	大鋸(家)	足立(理)	堀(商) 原口(社)	有森(国) 西久保(家)

鹿島観桜弓道大会入賞

4月7日(日)に第69回鹿島観桜弓道大会が鹿島市民武道館で開催され、14名が参加しました。2年の小中村伊吹さんが、8本中6本的中し、2位、3位決定戦に出場し、遠近競射で惜しくも負けてしまいましたが、緊張感のある中、練習通りの力が発揮できた素晴らしい試合でした。今年度もよい報告ができるように弓道部一丸となって頑張っています。

3位入賞
おめでとう

応急手当講習を実施しました

4月4日(木)、全職員参加の応急手当講習を体育館で実施しました。鹿島消防署太良分署より2名の隊員の方に来校いただき、実際にAEDを使いながら職員一人ひとりがトレーニング用の人形を用いて緊急時の対応を学びました。通報時のポイントやAEDの細かい使用法など質疑応答も活発に行われ、新年度スタートを前に生徒の安心・安全を守る重要性を再確認しました。

